

令和2年度 東京都地域活動に関する検討会（第1回）

事前アンケート概要

<災害（風水害）編>

東京都生活文化局

令和2年9月

昨年の台風を通じて、町会・自治会が課題と感じた事項は主に7項目あった。以下に課題と、それらの課題に関連する台風の際に実際に行われた参考活動例を紹介する。

課題（１）風水害時における町会・自治会の役割について

- ・地震災害と風水害対応は違うので町会・自治会としてどのような対応をしていくのか、明確にしておく必要。

▶台風19号に際し実際に行われた参考活動例

◇避難所支援

- ・避難所の受け入れ準備を行うとともに、行政担当者の到着後では、**町会長他役員が待機**し住民の相談窓口となった。

◇土嚢の手配等、事前の対策

- ・町会会館に集合し、自治管内パトロールや土嚢の手配と配布を行った町会もあった。

◇避難状況の把握

- ・昼間の際に**避難状況を確認**するため、避難所の小学校を訪問。**住民の意見・要望を聞き**市担当者へ情報を提供した。

◇復旧作業

- ・被災した地域では、町内会・自治会が中心となって、**がれきの除去**などの支援活動を行った。（あきる野）

課題（２）防災訓練について

◇訓練不足

- ・風水害に対応した**防災訓練**について、町会単位での訓練等がなく不十分。

◇タイムラインの必要性

- ・どんな状態になったら逃げる必要があるのか、どこへ逃げるのかなど事前に確認しておく必要

◇日中災害の想定

- ・町内会役員は仕事をしている人が多いため、日中の災害対応を検討する必要

➤台風19号に際し実際に行われた参考活動例

- ・3つの町会と1つの団地自治会、社会福祉協議会が協力して地区防災マップを作成。

今回の台風19号襲来時の避難行動に役立った。(福生)

課題(3) 要支援者への対応について

◇対応が不明瞭

- ・避難弱者への対応が喫緊の課題

➤台風19号に際し実際に行われた参考活動例

◇声かけ

- ・地域の要配慮者に電話や訪問で声かけを行った。

◇民生委員との連携

- ・一人暮らしの高齢者など支援が必要な方々に対しては、民生委員が対応するなど町内会で役割分担を定め、災害時に連絡を取り合えるような体制づくりをしている。(品川)

◇避難所への移送支援

- ・台風19号に関するアンケート調査を実施。高齢者夫妻や一人暮らしの高齢女性が避難する“あし”のないことが分かった。避難時のマーカー避難協力支援の体制を作り上げた。

◇要配慮者支援を想定した事前訓練

- ・「障害者の不安」をベースに「救援所の受入」訓練の提案が地域防災コーディネーターからあり、学校震災救援所では訓練を計画中。去年は聴覚障害者の訓練を実施した。

課題(4) 新たな避難場所の確保について

◇町会会館の活用

- ・高齢者等は避難所に行くこと自体が困難であるため、町会が身近で安全に過ごせる場所(町会会館など)を提供できるとよい。

◇風水害の避難所見直し

- ・垂直避難場所になり得るマンション、商業施設等の高層建物を各地域で可能な限り確保しておきたい。

台風19号に際し実際に行われた参考活動例

◇町会会館の利用

- ・一部の町会が、自主的に町会会館を避難場所として立ち上げた。

◇民間施設の利用

- ・ハザードマップにて水害が想定されている地域の町会、自治会において、高層階住居への避難ができるよう、協定を締結した。

課題（5）他団体との連携の必要性について

- ・消防団と町会・自治会・地域のボランティアセンター（社協所管）との役割分担・連携強化の具体的検討

台風19号に際し実際に行われた参考活動例

- ・行政や社会福祉協議会に地域の被災状況やボランティアニーズを提供した。

課題（6）情報の伝達について

◇情報の伝達方法

- ・避難場所や避難勧告等の情報を町会員に伝達する方法を構築する必要

◇行政との情報共有

- ・区は、水害は予測がつくので区職員で避難所を開設し運営するというが、実際は、町会に多くの問い合わせがあった。地元の方からの問い合わせに対応できるよう、開設場所や開設日時等を区と情報共有する必要がある。

◇事前周知の必要性

- ・地震災害避難所と風水害避難所は分けて広く市民に周知が必要

台風19号に際し実際に行われた参考活動例

- ・特別出張所で土のうとブルーシートを配布していることを電話連絡網により町会役員に周知
- ・町会会館開放の情報をホームページで発信し、住民に広く呼びかけた。
- ・ほとんどの町会・自治会で会員への避難所開設の情報提供や避難の声掛けなどを会員相互で行った。
- ・市から自治連協会長に電話で、川が氾濫する可能性があるため、加盟自治会に対し、

避難準備や不要不急の外出控えの連絡を行ってほしいと要請を受けた。役員、理事が手分けして電話、ファックス、メール等で連絡した。

課題（7）非会員への懸念について

- ・集合住宅等の町会に加入していない世帯とは災害時の連携に不安

台風19号に際し実際に行われた参考活動例

- ・避難指示区域内においては、会員・非会員を問わず区域内住民に避難を呼び掛けた。